

県道原町川俣線の川俣町から二枚橋地区に入る村の入口と、同県道沿いの八木沢集会所前に、大きな看板がお目見えしました。村内に入る時に見える面には「お帰りなさい 首を長くして待つてたよ」と書かれていて、村民の帰村を歓迎しています。また、村外に出る時に見える面には、飯館牛の顔面アップの写真があり、「行つてらっしゃい 必ず帰つてきてね」と牛のセリフが書かれています。

実はこの看板、3月31日の避難指示解除に先立ち、村が設置したモニタリングポストです。交通量が多い県道の、西と東の村の入口に、リアルタイムの空間線量を表示し、さらには村民の皆さんへのメッセージを発信するため設置しました。

27日に、なごり雪が降る中で行われた除幕式では、菅野村長があいさつに立ち、「1人でも多くの方に戻って来ていただけるよう前向きに努力していく。避難指示解除を堂々と明るくPRすることも、一方では大切だろう」と述べました。

また、31日の避難指示解除日には、新聞各紙に村からのメッセージを掲載してもらいました。全国紙3紙では、これまでの励みやご支援に対する心からの感謝を表し、避難指示解除がゴールではなくスタートなのだということを改めて伝えました。県内2紙では、これからも前進と発信を続け、忘れられない、行つてみたい村にしていこうと、ふるさと再興への思いを表しました。

帰還困難区域となっている長泥地区では、避難指示が続きます。復興への道のりも、本当にこれからが本番です。逆境にある時ほど、人は真価が問われるもの。新しい村づくりに果敢に挑戦していく今だからこそ、明るさをもち、感謝を忘れず、飯館村民の底力を発揮していきましょう。

3月27日に二枚橋地区で行われたメッセージ付きモニタリングポストの除幕式。思わぬ雪の中での除幕となりましたが、木幡浩福島復興局長（左から3人目）をはじめ、ご来賓の皆様をお迎えして、無事に行うことができました。

